

## NEWS RELEASE [www.jogmec.go.jp](http://www.jogmec.go.jp)



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先: 石油開発技術本部 R&D 推進部 末廣・志水 TEL: 043-276-9284

日本 GTL 技術研究組合 末廣 TEL: 03-3539-5115

広報担当: 総務部 今・浅和 TEL: 044-520-8592

### JAPAN-GTL 実証プラント着工

### = JAPAN-GTL プロセスの実用化へ向けた実証プラント建設開始 =

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC、理事長: 掛札 勲) は、国際石油開発株式会社 (社長: 黒田 直樹)、新日本石油株式会社 (社長: 西尾 進路)、石油資源開発株式会社 (社長: 棚橋 祐治)、コスモ石油株式会社 (社長: 木村 彌一)、新日鉄エンジニアリング株式会社 (社長: 羽矢 惇)、千代田化工建設株式会社 (社長: 久保田 隆) の 6 社が昨年 10 月に設立した「日本 GTL 技術研究組合」と共同で、国産の天然ガス液体燃料化技術 (JAPAN-GTL プロセス) の実証研究を実施しております。

このたび、JAPAN-GTL プロセスの実証を目的とした日産 500 バレルのプラントの建設開始に際し、JOGMEC、日本 GTL 技術研究組合並びに組合員である 6 社は、新潟市において、9 月 5 日 (水) に起工式を実施いたしましたのでお知らせいたします。

本プラントは商業規模の GTL 生産施設の前段となるものであり、今後、平成 21 年 4 月に建設工事を完了し、平成 21、22 年度に実証運転を行う予定です。

昨今、エネルギーの安定供給は、アジアを中心とする世界のエネルギー需要の増大を受けて、重要かつ喫緊の課題となっております。このような中で、世界に広く存在する天然ガスを液体燃料化する GTL 技術は、一次エネルギー供給の多様化の観点から極めて有効な技術です。また、GTL 技術によって製造された燃料は、環境に優しいクリーン燃料としても期待されております。

今回の実証研究で開発する JAPAN-GTL プロセスは、炭酸ガスを含む天然ガスをそのまま利用することが可能な、世界初の画期的な技術です。本研究を通じて、先行する石油メジャーに対して競争力のある技術を開発し、天然ガス由来の液体燃料の開発推進 (運輸部門における石油依存度の低減等)、将来のエネルギー安定供給および地球環境との調和の実現に向け取り組んでまいります。

以上

## 1. GTL 技術の概要

GTL 技術とは、Gas-To-Liquids の略です。天然ガスから、化学反応によってナフサ、灯油等の石油製品を製造する技術で、海外では、南アフリカのサソール、シェルにより商業プロジェクトが進められています。

JAPAN-GTL は、炭酸ガスを含む天然ガスをそのまま利用することが可能な、世界初の画期的な技術です。本研究を通じて、先行する石油メジャーに対して競争力のある技術を開発し、天然ガスから液体燃料の調達（液体燃料調達資源の多様化、エネルギーの安定供給確保）、運輸部門における石油依存度の低減、および、地球環境との調和の実現に向け取り組んでまいります。

## 2. 実証研究の概要

### (1) 目的

今回建設する実証プラントで JAPAN-GTL プロセスの実証、ならびに商業化へ向けたスケールアップの検討等を行い、商業規模(数万 B/D)で技術的・経済的に競争力をもつ GTL 技術を開発する。

(2) 研究体制 JOGMEC と民間6社が設立した日本 GTL 技術研究組合が共同で推進。

(3) 研究予算 総事業費 約360億円 (うち民間6社の負担額 約120億円)

#### 民間6社の費用負担

|                |       |
|----------------|-------|
| 国際石油開発(株)      | 約30億円 |
| 新日本石油(株)       | 約30億円 |
| 石油資源開発(株)      | 約30億円 |
| コスモ石油(株)       | 約10億円 |
| 新日鉄エンジニアリング(株) | 約10億円 |
| 千代田化工建設(株)     | 約10億円 |

(4) 期間 平成18～22年度 (5年間)

以上

プラント完成予想図

